

GPA 制度における学部間格差について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2017年4月5日）

私は法学部に所属していますが、法学部は相対評価式をとる教授が多いこともあって、他学部に比べ試験の点数が出にくくなっています。

ちょっと勉強すれば満点や90点以上を難なく取ることができる工学部などと比べると、法学部においては司法試験や法科大学院合格を目指して必死に勉強している優秀な人でも平均点は80点代前半で頭打ち、その他の人は少し頑張ったくらいでは優を取ることはほぼ不可能という状態です。

法学部における点数の出にくさはGPAのスコアに直接影響し、海外留学用の奨学金の審査や就職活動において、点数の出やすい他学部よりも圧倒的不利な状況に立たされています。

学部間の格差が是正されることのないままGPA制度を導入していくことは納得できません。早急な改善をお願いいたします。

【回答】（回答日：2017年4月21日）

（教育推進・学生支援部 教務企画課）

学修成果の評価は従来から各学部の考え方等に基づいて実施されてきたところに、昨年度からGPA制度を導入したところです。

この導入から1年が経過したことを踏まえ、これから、学部ごとの点数分布や平均など、具体的に検証を進めていくこととしており、この検証の過程で、いただいたご意見も含め、より適切な成績評価のあり方を検討して参ります。